

■目的
地域公共交通の再構築に向けて、県内の鉄道、バス、タクシーの現状を詳細に把握するとともに、他の輸送資源との連携、活用可能性などを検討するため、地域公共交通以外の輸送資源の運行実態を調査する。

項目	調査対象	調査内容
地域公共交通実態調査	①鉄道、②広域路線バス、③乗用タクシー、④市町村が運営する域内バス（市町村民バス、デマンド交通、スクールバス、福祉バス、患者輸送バス）、⑤公共ライドシェア、⑥日本版ライドシェア	事業者数、路線数、車両数、車庫数、輸送人員、実働率(乗用タクシー)、運行時間（デマンド交通） 等
地域の輸送資源実態調査	①スーパーが運営する買い物バス ②薬局・病院等が運営する患者送迎バス ③私立高校が運営するスクールバス	事業者数、運行エリア、運行回数、運行時間帯、運行経費、運転士等の専門人財の雇用状況、今後の運行の見通し 等
アンケート調査	①交通事業者	輸送人員、運転士等の専門人財の雇用状況、設備投資状況（車両ほか）、収支状況、将来見通し
	②市町村	広域公共交通・交通拠点に対する考えや意向 等
	③私立高校	スクールバスの運行内容、今後の運行の方向性
その他	－	人流データ分析

調査結果は本会議で共有